

1 卒業要件

- (1) 修業年限を満たすこと
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
- (3) 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群の必修7単位、教育学部必修ユニバーシティ・スタンダード科目13単位以上(注)を修得していること
- (5) 教育学科の必修9科目16単位、必修選択3科目6単位以上を修得していること

(注) 教育学科の定める「ELFの4単位免除の条件」(p.142参照)を満たした者は9単位以上

2 卒業までの単位配分

ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群 教育学部必修ユニバーシティ・スタンダード科目	7単位 13単位以上(注1)	
科目群	教育学部必修科目	16単位	104単位
	教育学部必修選択科目	6単位以上	
	選択科目	任意(注2)	
計		124単位以上	

(注1) 教育学科の定める「ELFの4単位免除の条件」を満たした者は9単位以上

(注2) 選択科目は教育学部科目、ユニバーシティ・スタンダード科目、他学部他学科科目、500番台科目、単位互換科目を含む

1 教育学科必修ユニバーシティ・スタンダード科目

科目群	科目	単位数	計
人文科学科目群	名著講読(人文科学)	1単位	13単位以上(注)
社会科学科目群	名著講読(社会科学)	1単位	
自然科学科目群	情報科学入門	2単位	
言語表現科目群	ELF101～ELF402の中から2科目以上(注)	8単位以上(注)	
教職関連科目群	体育	1単位	

(注) 教育学科の定める「ELFの4単位免除の条件」(p.142参照)を満たした者はELFを1科目4単位以上とし計9単位以上

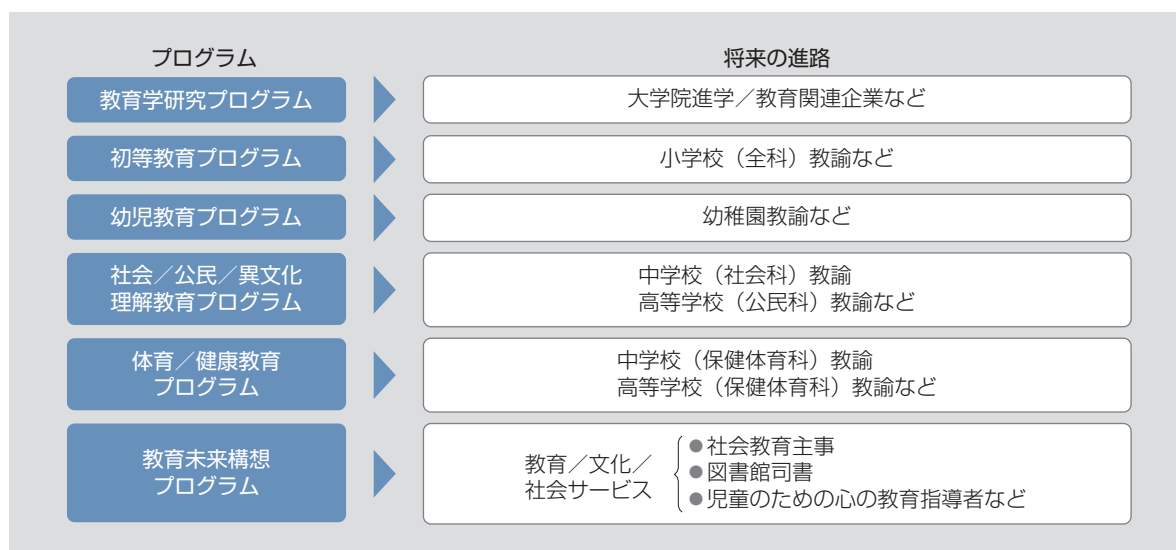
2 教育学科必修科目

科目名称	単位数	開講セメスター	備考	計16単位修得
教育学概論	2	1	教育学の基礎学修を行います	
教職概論	2	2		
教育実践研究Ⅰ	1	3	キャリア研修を主体とする教育学部独自の担任ゼミです	
教育実践研究Ⅱ	1	4		
全人教育実践演習A	2	3	「全人的理想の教師」を理解し、玉川学園の教育信条を踏まえた教育活動を目指した実践的演習を行う。	
現代教育研究Ⅰ	2	5	教育学の各領域における学びの在り方を整え、具体的な研究能力を養います。	
現代教育研究Ⅱ	2	6		
卒業課題研究Ⅰ	2	7		
卒業課題研究Ⅱ	2	8		

3 教育学科必修選択科目

科目名称	単位数	開講セメスター	備考	計6単位以上修得
教育哲学	2	2	各専門分野の概論となる科目。 3科目6単位以上を選択履修します	
教育心理学	2	2		
教育史概論	2	2		
教育方法学(幼・小) または(中・高)	2	2		
教育社会学	2	2		
特別支援教育	2	2		
発達心理学	2	2		
教育行政学	2	2		

3 履修モデル



履修モデル A 学校教員を目指すモデル

本学が創立以来中核にすえてきた、優れた初等中等学校教員ならびに幼稚園教諭の育成を目指すモデルです。現在でも約10,000名の卒業生が現職教員として活躍しており、「教育の玉川」として、本学科の卒業生の最も多数を占めるキャリアです。

【志向するキャリア】

- 教員（幼稚園、小学校、中学校社会・保健体育、高等学校公民・保健体育）
- 大学院進学（教育専門職領域）

履修モデル B 高度な文化専門職を目指すモデル

近年、文部科学省の提唱する「生きる力」に見られるように生涯学習の時代をむかえて、社会のさまざまな場での教育支援、学習者支援が必要とされており、教育を専門的に学んだ人材のニーズが以前にも増して重視されています。公務員、特に教育支援（教育委員会の社会教育主事など）の専門職や民間教育産業（生涯学習支援専門職）への就職、図書館司書などを目指すモデルです。

【志向するキャリア】

- 図書館・美術館・博物館・カルチャーセンターの専門職企業（放送・出版・研修・人材派遣・ホテル・教育産業）の総合職
- 公務員（公共団体の生涯学習モデレーター・メセナ・公益法人・社会福祉事業）
- 大学院進学（比較文化領域、文化政策領域、生涯学習領域、文化・メセナ振興領域、文化ビジネス領域）

4 ELFの4単位免除の条件

- 教育実習をとまなう教職サブ免許取得を希望し、かつ、教育実習事前指導（サブ免許）の「P評価」（合格）を得られる者は、ELFの必修単位数を4単位以上とします。